

(事業名) 地域ゴミの資源化でクリエイティブ・リユースを！

－ 目指せゴミゼロ 2015 －

(団体名) NPO 法人 こどもアート

平成27年度 助成金額 497,984円 主な実施場所 左京区, 市内全域, 他

事業目的・概要— ごみを遊びと学びの教材に

●地域から出る自然ごみ, 生活ごみをアート表現の材料やモチーフとして素材化し, 乳幼児の成長期における感覚遊びや児童での造形遊び, さらに障がい者たちやお年寄りの方たちのヘルスケアなどにも役立つクリエイティブな活用方法やプログラムを開発する。

●表現活動に対する考えや方法化, さらにこどもからお年寄りまでの世代間の交流を図る創造する場づくりを推進するファシリテーターやプレイリーダーシップの育成を図る。

●ごみに対する感覚を柔らかく広げ, 暮らしの中での遊びや学びの視点を提案するための具体的なワークショップを通じた実践と講座形式での啓発と理解を求める。

●実践事例をもとに誰もが取り組める教材としての冊子を作成し, ゴミの利活用からゴミゼロの暮らし方を推進することを目的とする。

取組内容—事業内容・成果

1 感覚遊びの素材 (マテリアル化) として

ふたば幼稚園 (左京区), 洛東幼稚園 (山科区) にて, 主に生活ゴミを各家庭から集めてもらいそれらをモチーフに感覚を刺激し身体全体の発達をめあてに活動した。素材ボックスを設置し, 集めた材料を分別, 整理し扱いやすく整えた。素材を整え日常的に見えやすくすることで大切に扱い, 活動の幅が広がった。

○主な活動記録・成果

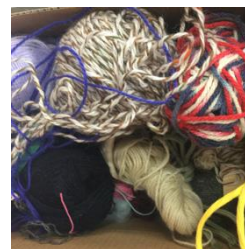
ふたば幼稚園 (年少さん2クラス, 40名)

5/1 雑紙であそぶ, 5/21 土・砂であそぶ, 6/5 クレヨンをつくって, 7/3 布で風をつかまえる, 9/29 小麦粉でコネコネ, 10/23 紙粘土でかお, 11/17 靴下の端材であそぶ, 12/4 ワラと毛糸でお飾りづくり, など。

洛東幼稚園 (年少さん2クラス, 44名)

4/24 古新聞であそぶ, 5/29 大きな布にクレヨン, 6/26 風を感じて, 紙・布・テープ, 9/25 いろいろなもので描く・墨, 10/16 紙粘土でかお, 11/27 毛糸であそぶ, 12/14 ワラと毛糸でお飾りづくり, 2/18 端切れで吊り雛づくり, など。

2 竹材, 自然素材の継続展開



自然環境の整備活用を目的に竹林や河川、自然公園などでのこどもと暮らしのアート活用を図る。学区や地域自治会、おやじの会などの取り組みに竹箒つくりやワラ細工などのアートワークショップを展開した。

○主な活動記録・成果

5/3-5 アースデイにて竹のアートワーク；府立海と星の見える丘公園（約 20 名），

4/19,7/9,11/2 竹林での竹伐り活動；NPO 法人竹の学校（延べ約 15 名），

10/24 上京区竹間学区にて竹箒ワークショップ（約 30 名），

12/6 竹箒ワークショップ；宮津市教育委員会・SKY センター共催，宮津歴史の館（約 30 名）



3 児童館，小学校学童による地域ごみの資源化

北白川児童館での高学年を対象とした「あそびクラブ」を月一回ペースで活動。（メンバー約 12 名）9 回（延約 90 名）竹箒づくり，ポリ袋でのエアドームをつくって地域イベントに。布素材を使つての雑貨，小物づくりと子どもたちのアイデアと工夫で利活用を図った。

○主な活動記録・成果

8/5 井手町立多賀小学校にて自然素材のアートワークショップ（約 30 名）

8/8,9/19 兵庫県洲本市にて布素材を使つてのアートワークショップ（約 40 名）

10/4 市民ふれあいステージにて，古着素材でアートワークショップ（約 80 名）

12/12 京都市立下鳥羽小学校にて，布と竹のアートワークショップ（約 20 名）

12/17 木津川市立高の原小学校にて布素材でアートワークショップ（2 クラス，70 名）



4 シニア世代と世代間交流のアートサポーター育成

公益財団法人京都 SKY センターとの連携でシニア世代を対象に，アートで子どもたちと関わる人材育成の講座をごみ資源化の視点で立ち上げた。この活動を契機に，地域のおやじの会や自治会，地域づくりの皆さんとも繋がることのできた。

○主な活動記録・成果

幼児編（3 講座），小学生低学年編（3 講座），高学年編（2 講座），上級編（2 講座）として障がい者や地域自治会，世代交流という視点での全 10 講座を開講した。（延べ約 120 名）

2/23，3/8 ベネッセ老人ホーム・セミナーでのアートサポート（延べ約 30 名）

3/22 健光園 藤城の家でのアートサポート（約 20 名）

5 『ゴミとあそぼう』冊子の発行（B5 版 36 ページ，フルカラー）

助成金活動でのワークショップのノウハウを教材としてまとめた。



（団体名）NPO 法人こどもアート

【代表者】 理事長 加藤ゆみ

【主な活動地域】 京都市内，府内，他

【ウェブサイト】 <http://asonabi.com/>

【設立の目的】

「こども」は未来。こどもと関わることは，未来とどう向き合うかということです。未来を担うこども

たちに何を伝え、イキイキと輝いて生きるためのお手伝いをアートを通じて行いたい。同時に、今を生きる全ての人の内にある「こども」性と向き合い、心豊かな暮らし、町の元気、そして希望ある地域社会をこどもと共に創造することを目指します。

【主な活動内容】

- こどもの成長に必要な遊びと学びのアートプログラム
の企画運営
- 8/9 あそびサロン，布を使って；岡崎イキイキ市民センター
- 里山と町の地域間交流と環境教育
- 10/3-4 市民ふれあいステージ；梅小路公園
- こどもアートの国際協力，連携企画